

## 出穂早まる！葉色の淡いほ場では遅れずに穂肥を!!

### 1 生育概況

7/27 現在の生育 葉色：濃い（一部で淡い） SPAD値 36.9  
※コシヒカリ（指標値比） (SPAD値+4.4)

- 葉色は平年より濃くなっています。しかし、葉色が低下し、穂肥施用後も葉色の淡いほ場もみられます。
- 基肥一発体系では、葉色は濃い傾向です。
- 出穂は平年より早まると見込まれます。（5/10～15の田植では8/1頃が出穂期の見込み）

### 2 今後の管理

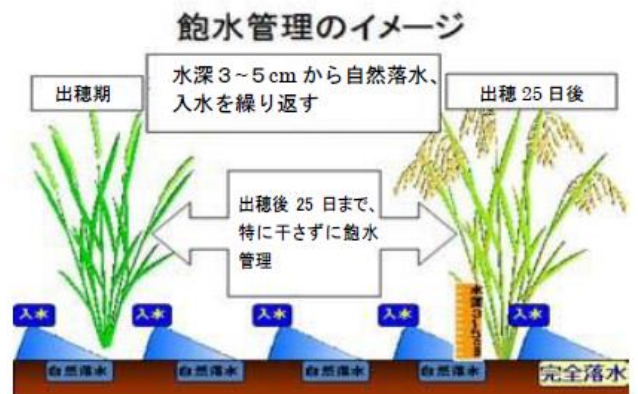
- 穂ばらみ期から出穂・開花期頃は最も水が必要な時期です。ほ場の水分状態に応じたこまめな水管理で稲体の活力低下や下葉の枯れ上りを防いでください。
- 葉色が淡い場合は、栄養凋落が懸念されることから、品質維持のため下記のめやすを下回るほ場では、追加穂肥を施用してください。
- 分施肥体系の追加穂肥施用のめやす

施肥体系	判定時期と葉色のめやす	施用時期と施用量
化学肥料体系【慣行栽培】 ・1～3回目とも化学肥料	出穂期3日前の葉色 SPAD値：31以下、葉色板※4.0以下	出穂期3日前に 窒素成分で1kgを上限
有機質肥料体系【減減栽培】 ・3回目に有機50%肥料※	出穂期6日前の葉色 SPAD値：33以下、葉色板※4.5以下	出穂期3日前に 窒素成分で1kgをめやす

- 基肥一発体系では、出穂期の葉色が32～33（葉色板4.5）を下回ると予想される場合には、追加穂肥を実施してください。
- いもち病が発生しやすい状況です。早期発見と早期防除に努めましょう。
- 斑点米カメムシ類の発生が多くなっています。農道・畦畔の草刈りと適期の薬剤防除を実施しましょう。

### 3 生育調査結果（7月27日現在）

	田植日	葉色（SPAD値）			
		本年	指標差	前年差	
コシヒカリ	下稻塚	5/9	34.6	2.1	1.3
	高森	5/15	37.6	5.1	4.2
	長崎	5/9	39.7	7.2	0.1
	広島	5/16	35.5	3.0	2.0
	平均		36.9	4.4	1.9



### 4 北陸地方1か月予報（新潟地方気象台 7月23日発表）

- 期間のはじめは降水量が多く、日照時間は少なく、その後は平年並みに晴れる見込みです。
- 気温は、期間の前半は平年並からやや低く、その後は平年並から高いでしょう。

問い合わせ先 上越農業普及指導センター作物担当（電話025-526-9406）